

平成28年度
決算報告

平成28年度の一般会計、特別会計、病院事業会計の決算がまとまり、平成29年第4回議会定例会（平成29年12月15日開催）で認定されましたのでお知らせします。

一般会計決算の概要

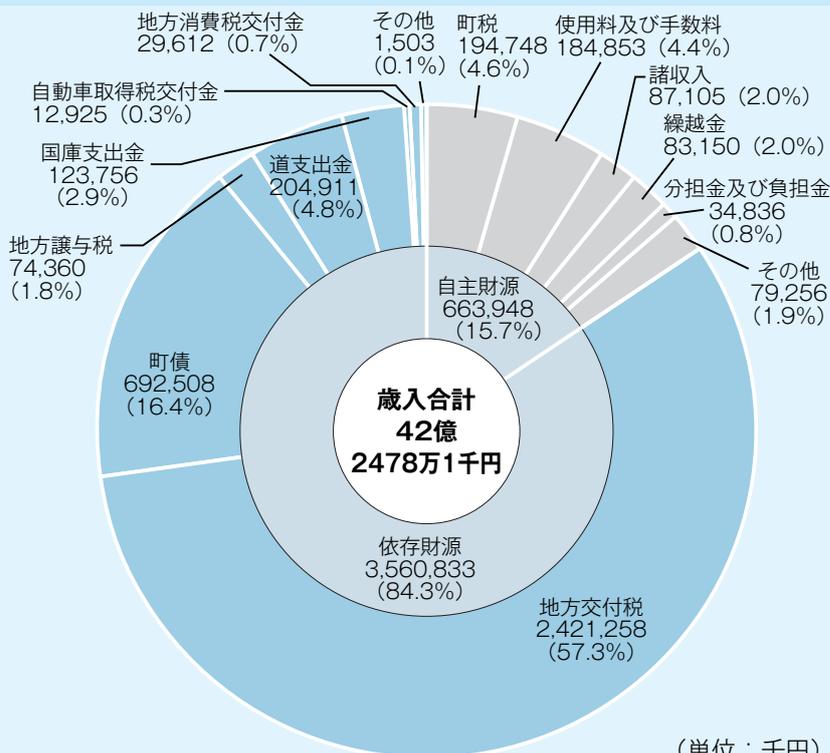
平成28年度の一般会計の決算は、歳入決算額が42億2478万1千円、歳出決算額が41億4278万7千円となり、歳入から歳出を差し引いた収支は8199万4千円の黒字となり、平成29年度会計へ繰り越しました。

これを前年度と比較すると歳入決算額は6億700万円ほどの減(12.6%の減)、歳出決算額は6億600万円ほどの減(12.8%の減)となりました。
※なお、今回の決算報告は地方財政状況調査などを基に作成しております。

歳入の状況

27年度・28年度との比較 (単位(決算):千円) 比較増減率%

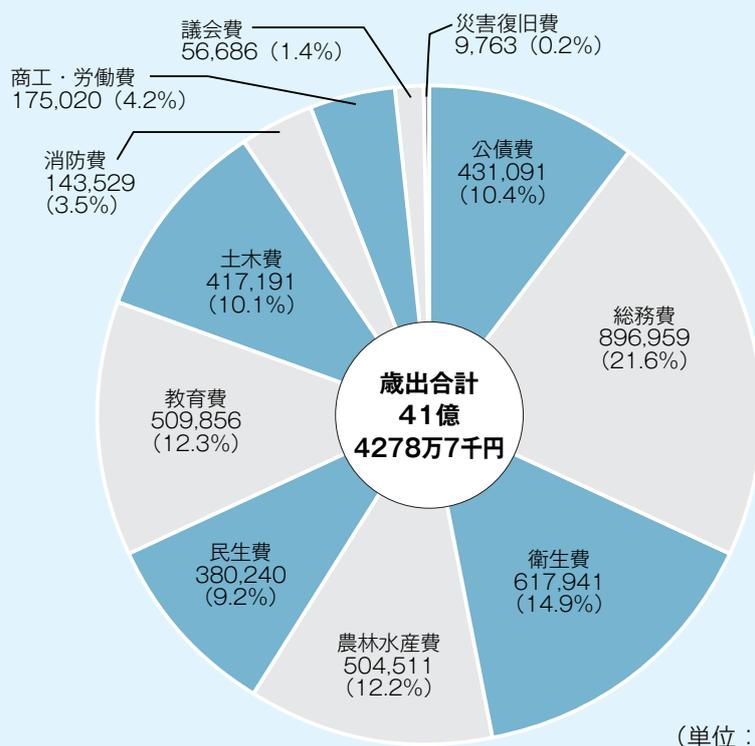
区分	28年度決算	27年度決算	比較増減率
町税	194,748	164,879	18.1%
使用料及び手数料	184,853	121,924	51.6%
諸収入	87,105	59,849	45.5%
繰越金	83,150	118,729	△30.0%
分担金及び負担金	34,836	36,505	△4.6%
その他	79,256	58,929	34.5%
地方交付税	2,421,258	2,446,759	△1.0%
町債	692,508	1,129,108	△38.7%
地方譲与税	74,360	76,509	△2.8%
道支出金	204,911	368,854	△44.4%
国庫支出金	123,756	201,522	△38.6%
自動車取得税交付金	12,925	11,856	9.0%
地方消費税交付金	29,612	33,995	△12.9%
その他	1,503	2,170	△30.7%
合計	4,224,781	4,831,588	△12.6%
自主財源	663,948	560,815	18.4%
依存財源	3,560,833	4,270,773	△16.6%



歳出の状況

27年度・28年度との比較 (単位(決算):千円) 比較増減率%

区分	28年度決算	27年度決算	比較増減率
公債費	431,091	418,659	3.0%
総務費	896,959	784,900	14.3%
衛生費	617,941	650,017	△4.9%
農林水産費	504,511	443,458	13.8%
民生費	380,240	1,113,565	△65.9%
教育費	509,856	429,956	18.6%
土木費	417,191	542,442	△23.1%
消防費	143,529	141,915	1.1%
商工・労働費	175,020	163,726	6.9%
議会費	56,686	58,000	△2.3%
災害復旧費	9,763	1,800	442.4%
合計	4,142,787	4,748,438	△12.8%



梶加内町の財政状況を家庭の家計に例えてみると

梶加内町の一般会計と家庭の家計では、金額やお金の使い方に大きな違いがあるため、単純に比較することは出来ませんが、決算を身近なものにしていただくため、主な職業別、項目別に例えて、平成28年度の一般会計決算を実際の千分の一に置き換えた、年間収入を422万円、年間支出を414万円として表してみました。

収入

【単位：万円】

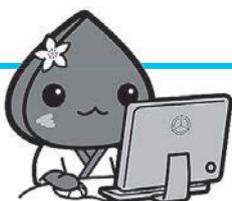
	農 家	商 店	サラリーマン	H28	H27	町の決算【科目名】
①	農産物販売代金	商品販売代金	給料【基本給】	28	28	・町税 ・繰越金
②	交付金等	グループ企業支援金	給与【各種手当】	288	314	・譲与税 ・交付税 ・交付金 ・国庫支出金 ・寄付金 ・道支出金
③	農地賃貸料	建物土地賃貸料	家賃収入	32	24	・分担金負担金 ・使用料、手数料 ・財産収入 ・諸収入
④	借入金	借入金	借金	69	113	・町債
⑤	貯金の引き出し	貯金の引き出し	貯金の引き出し	5	4	・繰入金
	合 計			422	483	

支出

【単位：万円】

	農 家	商 店	サラリーマン	H28	H27	町の決算【科目名】
①	雇人費	雇人費	食費	64	54	・人件費
②	肥料代・農具代 農薬代	仕入代 電気・水道料	電気・水道料等 日常生活費	75	61	・物件費
③	医療費 保育費	医療費 保育費	医療費 保育費	11	11	・扶助費
④	制度資金 返済金	制度資金 返済金	借金返済金	43	42	・公債費
⑤	トラクター修繕費	店舗・車修繕料	家・車の修理代	20	20	・維持補修費 ・災害復旧費
⑥	土地改良区賦課金 共済費	商工会負担金	町内会費 お祝い金等	75	83	・補助費 ・負担金
⑦	子供への仕送り	子供への仕送り	子供への仕送り	18	19	・繰出金
⑧	土地 トラクター購入費	店舗増改築 車購入費	家の増改築 車購入費等	81	147	・建設事業費
⑨	貯金 農協出資金	貯金 投資	貯金 投資	27	38	・積立金 ・貸付金
	合 計			414	475	

ほろみんが教える家計の特徴



今年の収入は昨年と比べて60万円ほど減少してしまい、主な要因は、昨年は大きな仕事（建物の建設）が多く、②の交付金等が多く入ったためです。その結果、今年は昨年より少ない収入でやりくりをしていくこととなりました。支出についても、「人件費のベースアップに伴う①の雇人費の増大」や「物価上昇により、②の肥料代等の仕入れ代の上昇」が見られました。しかしながら借金の返済にも余裕が見られたため、相対してみると414万円の支出に抑えることができました。

その結果、今年も収入収支ともバランスのとれた家計となり、収入から支出を差し引くと8万円の黒字となり、翌年の生活のために繰り越すことができました。

各種グラフで見る！幌加内町の財政状況推移

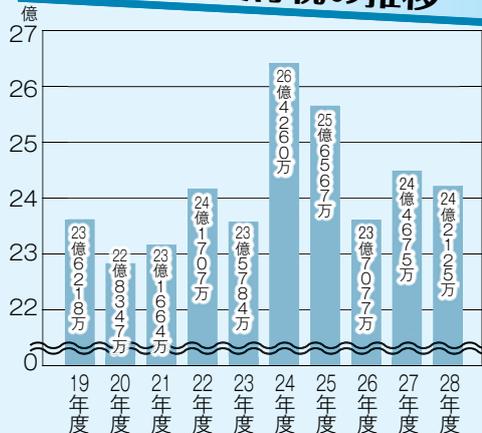
皆さんが興味のある地方交付税や町債（町の借金）、基金（町の貯金）のこの10年の推移をグラフで見てください。

幌加内町の一般会計歳入総額の57%（平成28年度）を占める「地方交付税」は、自主財源の確保が難しい本町の最も貴重な財源であり、財政の「要」といえます。

地方交付税は、地方公共団体間の財源の不均衡を調整し、どこの地域に住む住民にも標準的な行政サービスを提供できるよう財源を保障し、国税5税（所得税、法人税、酒税、消費税、たばこ税）の一定割合の額を国が地方公共団体に対して交付するもので、平成24～26年度までは、「地域経済・雇用対策費」を設けている影響による増減となります。

また、町民一人あたりに換算すると（平成28年末人口1,553人）約156万円が交付されている計算になります。

地方交付税の推移



町債（町の借金）の推移

社会資本の整備や大型の公共事業等を実施する場合、起債という長期にわたって返済を行なう借入金を活用し、資金調達を行います。

平成28年度の町債の残高は、約47.8億円で、ここ10年では約5.9億円の減少となりましたが、27年度からの増加理由は町立幌加内診療所の建設に伴うためのものです。

今後も町債発行の抑制や効率的な起債償還につとめ財政の健全化を図ります。

また、町民一人あたりに換算すると（平成28年末人口1,553人）約308万円の借金があるという計算になります。

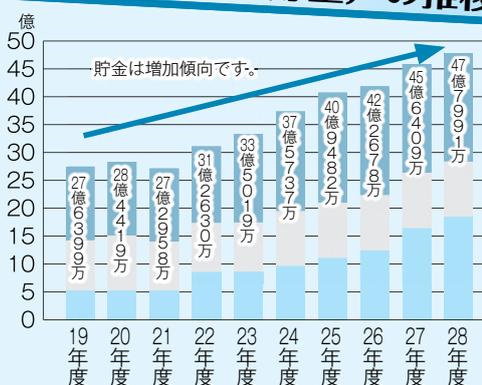


基金（町の貯金）は、財源が不足する年度に年度間の不足補う「財政調整基金」と町債（まちの借金）の償還財源を確保し借金の返済に充てる「減債基金」、また、使用目的が決まっている「特定目的基金」があります。

この10年間では行財政改革の取り組みにより、基金（町の貯金）が年々増えつつあります。

また、町民一人あたりに換算すると（平成28年末人口1,553人）総額で約308万円の貯金がある計算になります。

基金（町の貯金）の推移



	平成19年度 (千円)	平成20年度 (千円)	平成21年度 (千円)	平成22年度 (千円)	平成23年度 (千円)	平成24年度 (千円)	平成25年度 (千円)	平成26年度 (千円)	平成27年度 (千円)	平成28年度 (千円)
財政調整基金	526,967	528,879	532,364	864,058	870,007	971,143	1,117,187	1,271,319	1,614,115	1,845,559
減債基金	910,596	993,924	879,970	884,570	888,164	991,418	993,368	993,150	992,868	992,275
その他特定目的基金	1,326,429	1,321,394	1,317,251	1,377,678	1,592,026	1,794,815	1,984,268	1,962,320	1,957,108	1,942,079
積立金現在高(合計)	2,763,992	2,844,197	2,729,585	3,126,306	3,350,197	3,757,376	4,094,823	4,226,789	4,564,091	4,779,913

特別会計・企業会計決算報告

町には普通会計のほかに特別会計と公営企業会計があり、どの会計も私たちの暮らしを支えるのに役立っています。近年は普通会計だけでなく、特別会計や企業会計の財政の健全度が非常に重要視されています。

特別会計の決算状況

○特別会計とは特定の事業のために一般会計とは別に保険料や使用料など特定の収入により運営する会計です。本町の特別会計につきましては赤字になるものはありませんでした。

国民健康保険特別会計

疾病や負傷などをした場合に必要な給付を行う医療保険

歳入：2億4333万8千円
(前年比10.2%減)
歳出：2億3808万円
(前年比11.9%減)
歳入一歳出 525万7千円

歳入と歳出の差引残高は525万7千円となり、全額平成29年度会計へ繰越しました。

後期高齢者医療特別会計

原則75歳以上が加入する後期高齢者医療制度による各種給付

歳入：3036万6千円
(前年比14.8%増)
歳出：3010万8千円
(前年比14.9%増)
歳入一歳出 25万8千円

歳入と歳出の差引残高は25万8千円となり、全額平成29年度会計へ繰越しました。

介護保険特別会計

要介護認定業務や各種介護保険サービスの給付

歳入：1億6872万5千円
(前年比10.2%減)
歳出：1億5659万6千円
(前年比12.4%減)
歳入一歳出 1212万9千円

歳入と歳出の差引残高は1212万9千円となり、全額を平成29年度会計へ繰越しました。

簡易水道事業特別会計

町内各地区への飲料水の供給

歳入：7387万6千円
(前年比12.3%の増)
歳出：7387万6千円
(前年比12.3%の増)

下水道事業特別会計

家庭などから出た汚水の処理や浄化

歳入：6797万9千円
(前年比4.0%の減)
歳出：6797万9千円
(前年比4.0%の減)

奨学資金特別会計

各種学校に入学する方に対する資金貸与・支給

歳入：293万7千円
(前年比8.2%増)
歳出：293万7千円
(前年比8.2%増)

公営企業会計の決算状況

○企業会計とは民間企業のように事業収益により運営するものです。本町では、町立病院の運営がこれにあたり、28年度の病院事業会計は【赤字決算】となりました。



病院会計 (収益収支)

収益的収入と収益的支出の差引きは291万8千円の純利益となります。なお町立診療所の移行に伴い、平成28年度を持って病院事業会計を閉鎖いたします。

収益的収入：2億6545万5千円
(前年比50.5%の減)
収益的支出：2億6253万7千円
(前年比50.7%の減)
収入一支出 291万8千円